

【小施策評価(平成30年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	1	人がいきいきと暮らすまちづくり	小施策 主管課等	健康増進課	
施策	4	健康づくり・医療の充実	評価 責任者	澤口 佐知子	内線 6220
小施策	4-1	健康の保持増進	評価 シート 作成者	小川 睦子	内線 6220

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
生活習慣を起因とする高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病が年々増加しており、市民自らが生活習慣を改善して発病を予防する「一次予防」と健康診査・がん検診など、受診により病気の早期発見・早期治療を進める「二次予防」に重点をおいた取組が必要である。		心身ともに健康を保持し、生涯を健やかに暮らすことができるように、生活習慣病の早期発見と予防のための各種検診のほか、健康教育や訪問指導などの地域に密着した活動を推進して、市民が主体的に健康管理や健康増進に取り組める環境づくりを進める。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
市民		・健康を保つ活動が行われている。・病気になるようにする。・受診できる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価			
				成果点	⇒	成果の要因分析	
指標① 健康教育参加者数 当初値 (H25) 7,996 R1目標値 8,800 R6目標値 8,800 				単位 人 目指す方向 →	成果点 ・各種運動等教室や受動喫煙防止対策の健康教育、健康フェスタなど、全体的に参加者数が増加し、昨年度を大きく上回った。玉山地域については、教室の参加者数の40歳～64歳の参加者が100人ほど増加し、壮年期の参加者が増えた。	⇒	成果の要因分析 ・もりおか健康得とくポイント事業によって継続参加の意欲が向上し、無関心層への普及啓発のために健康フェスタを保健所会場からイオンモール盛岡に変更した。 ・玉山地域では、単発で実施していた教室を5回コースに組み替え、壮年期が興味をもって参加できるようネーミングを工夫し、開催時期を参加しやすい春と冬とし、健康づくり情報として「まめず倶楽部手帳」を活用した。
指標② がん検診受診率 当初値 (H25) 22.1 R1目標値 40.0 R6目標値 40.0 				単位 % 目指す方向 ↗	成果点 ・平成30年度と比較し、受診率が上がった検診は、子宮頸がん検診。 ・玉山地域の集団検診は、年々減少していたが、平成30年度は、集団の乳がん検診は28人、個別検診の子宮がん検診は25人増加した。個別・集団検診を合わせた受診率は、17.0%(H29年度16.5%)であった。	⇒	成果の要因分析 ・子宮頸がん検診は、委託医療機関が1か所増えたために受診数が増加した。 ・玉山地域は、個別検診と集団検診が選択可能であるが、集団で実施している子宮頸がん検診・乳がん検診が、台風の影響で9月から11月に変更され、再度日程を周知をしたこと。
				問題点	⇒	問題の要因分析	
				問題点 ・教室参加者の年代別の状況から、まだ青・壮年期の参加者が少ない。 ・対象者の年代により、教室内容、周知の工夫、開催時期等細やかな教室運営が必要である。	⇒	問題の要因分析 ・青年期・壮年期の年代は働いており、日中の教室参加が難しい。 ・年代や個人の健康状態で、健康に対する興味関心が様々である。	
				問題点	⇒	問題の要因分析	
				問題点 ・毎年周知方法等何らかの工夫をしているが、受診率が向上しない。 ・働き盛りの年代に検診の重要性が伝わりづらく、受診行動に結びつかない。 ・玉山地域は、身近に受診可能な集団検診について、若年層に伝わっていない。 ・受診率が下がった検診は前立腺がんと乳がん検診であった。受診率に変化のない検診は、肺がん、大腸がん、胃がん検診であった。	⇒	問題の要因分析 ・健康にまだ関心が持てない若年層への啓発の機会がなく、周知が難しい。 ・青年期・壮年期の働き盛りの年代は、平日受診が難しい。 ・乳がん検診、子宮頸がん検診については検診期間が長く、いつでも受診できるという意識がある。 ・前立腺がん検診は、平成29年度から一度精検対象者になった人は受診できないため。 ・胃がん検診は、内視鏡検査の受診数は伸びているが、X線検診分が減っているため、全体として増えていないため。	

今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性 ★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
★ もりおか健康得とくポイント事業の得点付与事業を増やす。(健康フェスタの医師講演会とおくすりセミナー) ★ 得とくポイントを管理する「健康教室がんばり記録」を作成する。 ★ 公募型協同推進事業を活用し、青年期・壮年期の働き盛り世代の運動習慣に向けた取り組みとして、夜間・土日開催の教室を実施する。 ★ 若年層への周知のために各種教室の案内を、公式ツイッターと公式フェイスブックに載せる。 ★ 健康福祉課では、働き盛りの年代に向けて内容を検討しながら、健康づくり情報として、「まめず倶楽部手帳」を活用する。 ★ 平成30年度開発した「笑顔満快！盛りもり体操」を、健康教育の一環として、DVDの市民への貸し出し、健康教室や健康フェスタ等で体操を実施し普及していく。 ☆1 もりおか健康得とくポイント事業の得点付与事業を増やす。
★ 幼児健診に来所する保護者に検診のPRチラシを配布する。 ★ 健康相談・栄養教室等の様々な機会を捉えて検診のPRをしていく。 ★ 検診だよりや受診券を分かりやすく工夫する。 ★ 胃がんの集団検診は、玉山地域と盛岡地域に関係なく、どの会場でも受けられるように契約する。 ★ 集団検診は、検診期間を延ばし、個別検診と併せて住民に周知を図る。 ★ 働き盛りの年代に検診の重要性を伝え、受診行動に結びつくよう、学校保健の行事や健康教育の際に、検診の必要性や健康管理の大切さを伝える。(玉山地域) ☆1 受診率向上に向けて、年度途中での受信勧奨をモデル的に実施する。